

来年度にむけて、学年の締めくくり

校長 高寄 浩三

新型コロナウイルス感染症に続いた全国的なインフルエンザの流行も少しずつ減少傾向になってきました。幸いなことに、二小では感染が大きく広がることなく、最低限の学級閉鎖でなんとか持ちこたえています。これも保護者の皆様の感染症対策の効果ではないかと考えています。本当にありがとうございました。

今年度も残すところ、あと1か月。子どもたちも、卒業や進級に向けて、意識を高めながら、これまでの総まとめと来年度の準備に取り組んでいます。

2月22日に「6年生を送る会」がありました。コロナ禍以降、久しぶりに全校児童が集まって開催することができました。花のアーチをくぐり、ひな壇に座る6年生は嬉しそうに、そして少し気恥ずかしそうにも見える素敵な笑顔です。仲良しの1年生に手を振る6年生もいます。それに応えるように1年生が大きく手を振っています。この光景を見ただけで「6年生を送る会」をやってよかったと思います。1年生から順番に6年生に感謝の気持ちを伝えるために、様々な出し物を6年生にプレゼントします。6年生にエールを送ったり、手話を付けて歌ったりするなど、どの学年も工夫した出し物を披露します。6年生だけでなく、その様子を見る他学年も、披露する学年も、みんなうれしそうです。最後に6年生がお返しとして、アフリカンシンフォニーを演奏してくれました。軽快なリズムと圧倒的な迫力で、みんな圧倒されていました。お返しというより、新たなプレゼントをもらった気分になりました。温かい雰囲気にも包まれた、とてもよい会だったと思います。

「6年生を送る会」は、6年生に感謝の気持ちを伝える会ですが、自分の成長を確かめる会でもあります。また、これからの自分の成長を考える機会でもあります。1年生の発表を見た上級生は、自分の成長を実感したかもしれません。6年生の演奏を聴いた5年生は来年の自分たちを想像したことでしょう。全校児童が集まって、お互いに発表を見合うことは大切な時間だと考えています。学校行事の良さを感じる、とても良い時間を過ごすことができました。

いよいよ今年度も残り一か月となりました。今いる教室、クラスのメンバーと過ごすのもあとわずかです。すべての学年、学級がよい締めくくりをして、「楽しかったね」「よかったね」と楽しい思い出をもって、次の学年に進めるように、取り組んでいきたいと思っています。

学年の締めくくりは、来年度へとつながっていきます。最後まで、ご協力をお願いいたします。

3月の生活指導目標 「一年間の生活をふり返ろう」

今年度も残り1か月となりました。

第二小学校では、様々な生活習慣を身に付けるために、毎月生活目標を設定して取り組んできました。

4月「あいさつをしよう」5月「友達と仲良く過ごそう」6月「ものを大切にしよう」8・9月「チャイムを守ろう」10月「すすんで体をきたえよう」11月「正しい言葉づかいをしよう」

3月は学習、生活の両方の振り返りを行います。

各学年学級ごとに「この1年間でどのような生活を行ってきたのか」「健康で安心・安全な毎日を送ることができたのか」を振り返ります。

これからも、よりよい学校生活を送れるように、改めて目標を設定して取り組んでいきます。

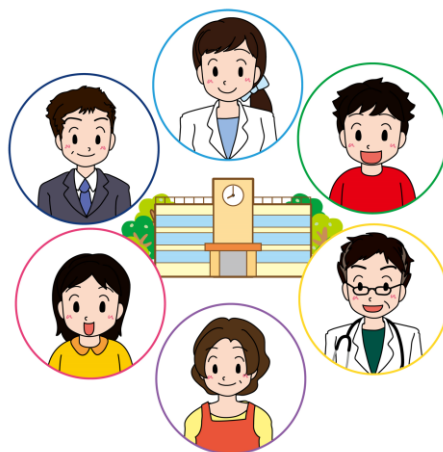
今年度も、保護者や地域の皆様には、感染症防止の対応や安全、防犯等の様々な場面で、ご協力をいただきました。感謝いたします。ありがとうございました。

(生活指導部)

学校保健委員会について

今年度は数年ぶりに本校で学校保健委員会の開催ができました。保護者の皆様や地域の皆様、学校医の先生方や学校薬剤師の方と学校で子供たちの健康課題などについて情報を共有したり、話合ったりすることができました。

今年度の学校保健委員会の内容は、二小の定期健康診断の結果や、保健室の来室状況、環境衛生検査、体力テストの結果と課題、学校給食についてです。保護者の方から学校医の先生へ聞きたいことなどを質問していただくなど、有意義な時間となったと思います。学校保健委員会の内容は一部抜粋し、3月号の保健だよりで紹介しますのでぜひご覧ください。



(養護教諭)

130周年記念イベント

2月9日に周年行事委員会が中心となり企画した130周年記念イベントが開催されました。グループで協力してキーワードを集める「130周年ウォークラリー」や二小の歴史を振り返る「130周年クイズ」、20年後の開校150周年に向けたお祝いの手紙を納める「タイムカプセル納め式」を行いました。

子どもたちは、どの企画も楽しそうに取り組んでいました。開校130周年を記念するイベントの締め括りとして、子どもたちにとって良い思い出になったことと思います。

(周年行事委員会担当)



6年生を送る会

今年度の6年生を送る会は、全校児童が体育館に集合し行われました。在校生は、事前に招待状や花のアーチの準備をしたり、出し物の準備をしたりして、本番を迎えました。

当日は、各学年から6年生へ、歌や群読などの出し物を行い、感謝の気持ちを伝えました。最後の6年生からの言葉からは、在校生たちへの感謝の気持ちと「これからの二小をよろしく」という励ましの気持ちが感じられ、心温まる1時間となりました。在校生が一つになって、卒業を祝うことができました。

(生き方・特活部)